

平成28年度 久居高等学校 学校評価報告書

(1) 学校マネジメントシートにおける今年度の重点取組についての評価結果

項目	取組内容・指標	結果
教務	(1)1年生に対して教科ガイダンスを実施し、学習意欲の喚起を促す。 (2)1～2年生に対して、科目選択のモデルコースを提示し、目的意識をもって日々の学習活動の取り組み、キャリアデザインを意識させる。 (3)公開授業週間を年に2回実施し、教員同士で気軽に授業を見せ合う雰囲気をつくり、授業研究につなげていく。	(1)は4月14日の1～2限に学校長による訓話と各教科からの説明を実施した。 (2)進路希望別の科目選択モデルコースを提示した。 (3)6月と11月の2回、公開授業週間を実施した。
総務	(1)LHR等で取り組む人権学習を実施する。 (2)人権教育に関する教員研修(現職教育)及び人権講演会を実施する。 (3)中学校訪問、オープンスクール、ホームページ・絆ネットによる情報発信を充実する。 (4)良好な職場環境づくりに取り組むとともに、総勤務時間の縮減に向け、年次有給休暇等を得しやすい環境をつくる。 (5)行事や取り組みの精選を進める。	(1)人権LHRの指導案を検討・改善した。 (2)今年度は県の取り組み、人権感覚あふれる学校づくり事業『あした』を拓く人権学習の研究)取組み公開、人権LHR等を行った。 (3)オープンスクールを夏季休業中を中心に年3回実施した。また、ホームページ更新を月1回以上、絆ネットは随時情報発信した。 (5)今年度3回委員会を行い、文化祭の11月への移動や学校で行うことを決めた。
生徒指導	(1)基本的な生活習慣・規範意識を身につけさせ、高校生としての自覚を持った生徒を育成する。 (2)基本的な生活習慣の確立のため、遅刻防止、服装髪型指導、清掃指導に粘り強く取り組む。 (3)登下校指導を行い、交通安全・交通マナーの向上に努める。また、全校集会等の機会をとらえ、三不運動の意義の徹底を図る。 (4)日頃から挨拶ができ、また正しい言葉使いができる生徒の育成に努める。	(1)～(4)非常に落ち着いた雰囲気であり、問題行動も昨年より減少している。大半の生徒が朝の挨拶や入室時の挨拶がきちんとできている。学校遅刻昨年度比5%減を目標としていたが、昨年度同時期を上回る数となった。3年生の進路が決まってからも生徒の目的意識を持続させていくことが課題である。
進路指導	(1)進路ハンドブック・プレ進路ハンドブックの発刊・配付と、それに伴う進路指導主事による講話を実施する。 (2)外部講師を招き、進路分野別ガイダンス、模擬講義、進路講演会を実施する。 (3)インターンシップ、看護・医療現場体験、オープンキャンパス等、学校外で催される行事の案内と、参加を促すための啓発を行う。 (4)大学・短大進学、看護医療系進学、就職・公務員等、進路分野ごとにガイダンス、課外授業、模擬試験を実施する。 (5)進路希望や受験方式等に応じて、面接練習、文書添削の個別指導を実施する。 (6)進路関係資料・情報を蓄積し、職員間で共有する体制を整える。模擬試験の問題・解答、模試の成績・進路希望・受験状況等の生徒のデータ、外部団体からの情報を、情報管理に配慮しながら適切に提供する。 (7)各分掌と協力し、本校独自のキャリア教育プログラムを策定する。 (8)上級学校、企業、ハローワーク等外部組織との連絡・協力を密にする。	(1)～(4) 「なります」「なるには」講座を含めて、計画した取り組みを概ね実施することができた。加えて、「面接ノート」の作成、愛知県への学校・企業見学バスツアーなど新しい取り組みも行った。 (5)～(8) 計画した取り組みをおおむね実施することができた。とくに調査書・推薦書の発行および情報蓄積の体制整備ができた。キャリアデザイン力を高めるため、計画的なキャリア教育を行う必要がある。総合学習を活用すること、進路行事や模擬試験を単発的なイベントに終わらせないことが課題である。

(2) 学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等

実施 内 容	<p>第1回 学校関係者評価委員会(平成28年7月5日) 出席者: 校長、教頭、事務長、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事及び学校関係者評価委員5名 協議題: 学校マネジメントシート等の説明、近況報告、本校に対するご意見・ご助言、その他</p> <p>第2回 学校関係者評価委員会(平成29年3月7日) 出席者: 校長、教頭、事務長、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事及び学校関係者評価委員5名 協議題: 今年度の重点取組の評価等について、特色ある学校経営・生徒募集について、来年度の学校関係者評価委員について等</p>
--------------	--

(3) 学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題

関 係 者 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ○来年度に向けて、勉強クラブなど生徒の学ぶ意欲を高める方策を検討・準備することが、家庭での学習習慣の定着や学習時間の増加につながる。 ○進路資料室や図書館での自主学習の定着、授業での図書館活用を一層進めてほしい。 ○地域では、久居高生の活発な活動の様子や元気に挨拶していく姿が見られる。 ○将来の進路希望の実現に向けて、英検等の資格試験に関する情報提供や積極的にチャレンジするよう指導してほしい。 ○久居高校の国際交流活動は大いに意義がある。自分の子どもも参加したが、今も生徒同士の交流が続いている。 ○SNSに関するマナーやモラルの指導を一層充実させてほしい。
-----------------------	--

(4) 次年度に向けた改善策

教育活動	学校経営
<ul style="list-style-type: none"> ○GTZ(学習到達ゾーン)の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学力の推移状況(個人・学年)の確認と学習指導へのフィードバック ・レベル別の学習指導方法の研究 ○進路別モデルコースの内容充実 ○新1年生チャレンジコースの内容充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学習手帳、「論理エンジン」、「天声人語ノート」の活用 ○キャリア教育プログラムの策定 <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」を中心に「基礎的・汎用的能力」の育成 ・三年間を見通した計画的・系統的な教育内容、リーダーシップ教育 ・進路別モデルコースの内容充実 ・生徒の目標の明確化と学習のモチベーションアップ ・自己有用感を伴った自己肯定感の向上 ○命を大切に教育 ○主権者教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の学校説明会(生徒の授業参加、部活動発表) ○地域連携 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園、小学校との連携、地域行事・清掃活動への参加 ○部活動指導の工夫・改善 ○学習研究部(勉強クラブ)の設置 ○教職員研修、現職教育(年3回)、授業参観(教科内、校内、他校) ○教科会の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・授業相互参観、授業参加チームティーチング、GTZ分析 ○人権教育・・・人権教育推進委員会、人権LHR ○危機管理・・・「防災マニュアル」の見直し ○教職員が働きやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・会議時間の短縮、定時退校日の設定(月1~2回程度) ・部活動休養日の設定(週1日程度)